



鷹の爪団の
『SHIROZEME』
自作甲冑講座

はじめに

『鷹の爪団のSHIROZEME』を甲冑を付けて本気で楽しみたい！
世界に一つだけの自作オリジナル甲冑をつくりたい！
というそこのあなたのために、なんと『SHIROZEME甲冑』の型紙
を特別大公開！そしてこちらのページで鷹の爪団と一緒に作り方も
教えちゃいます！
ただしこちらのサイトで教えられる作り方は、あくまでも簡単に
作ることを前提にした一例です。実際の本物の甲冑画像を見て参
考にしながら、自分なりの作り方を模索し、オリジナリティ溢れ
た自作甲冑で『SHIROZEME』に参加しましょう！



總統、このサイトを見れば自作で
甲冑が作れるみたいですよ！

ただしこのサイトで紹介しているのは、
簡単に作ることを前提にした一例！
あくまでも参考程度に、と考えてください！
オリジナリティ溢れた力作を待ってるよ！



使用する道具

- 型の素材

(段ボール、ポリエチレンなど折り曲げられ、甲冑の素材になりそうならなんでもOK！)

- 紐

(色は何でもOK！横の大きさは大体一センチ、穴に通りやすい厚さが望ましいです)

- 穴あけパンチ

(市販のベルト穴あけ器が便利です)

- セロテープ

- カッター

- カッターマット

- はさみ

- 塗料

(自分の好きな色で！)





型を作る

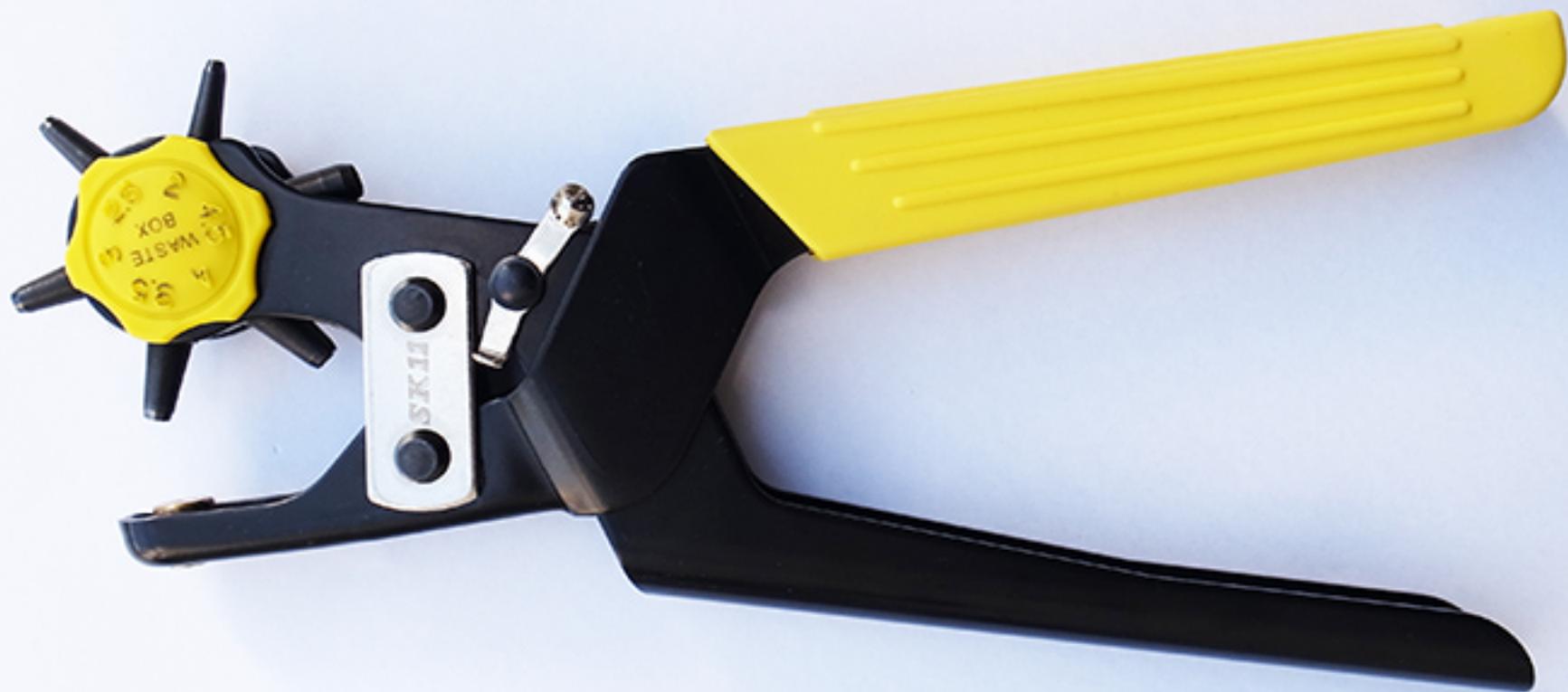
ダウンロードしたPDFファイルをA3でプリント。型紙を切り取ります。印刷前胴②~⑤、背板、後胴②~⑤の一部は別々に印刷されるので、線に合わせて貼り合せてください。型紙が出来上がったら、段ボールなどに合わせ、型紙通りに切り抜きます。すべて切り抜いたら、型は完成です。使用した型紙は次工程、穴抜きの際に使用するので、取っておいてください。



つまり型紙通りに切り抜くだけですね！
こんなのお茶漬けサラサラですよ！

お茶の子サイサイじゃろ、吉田くん。





穴をあける

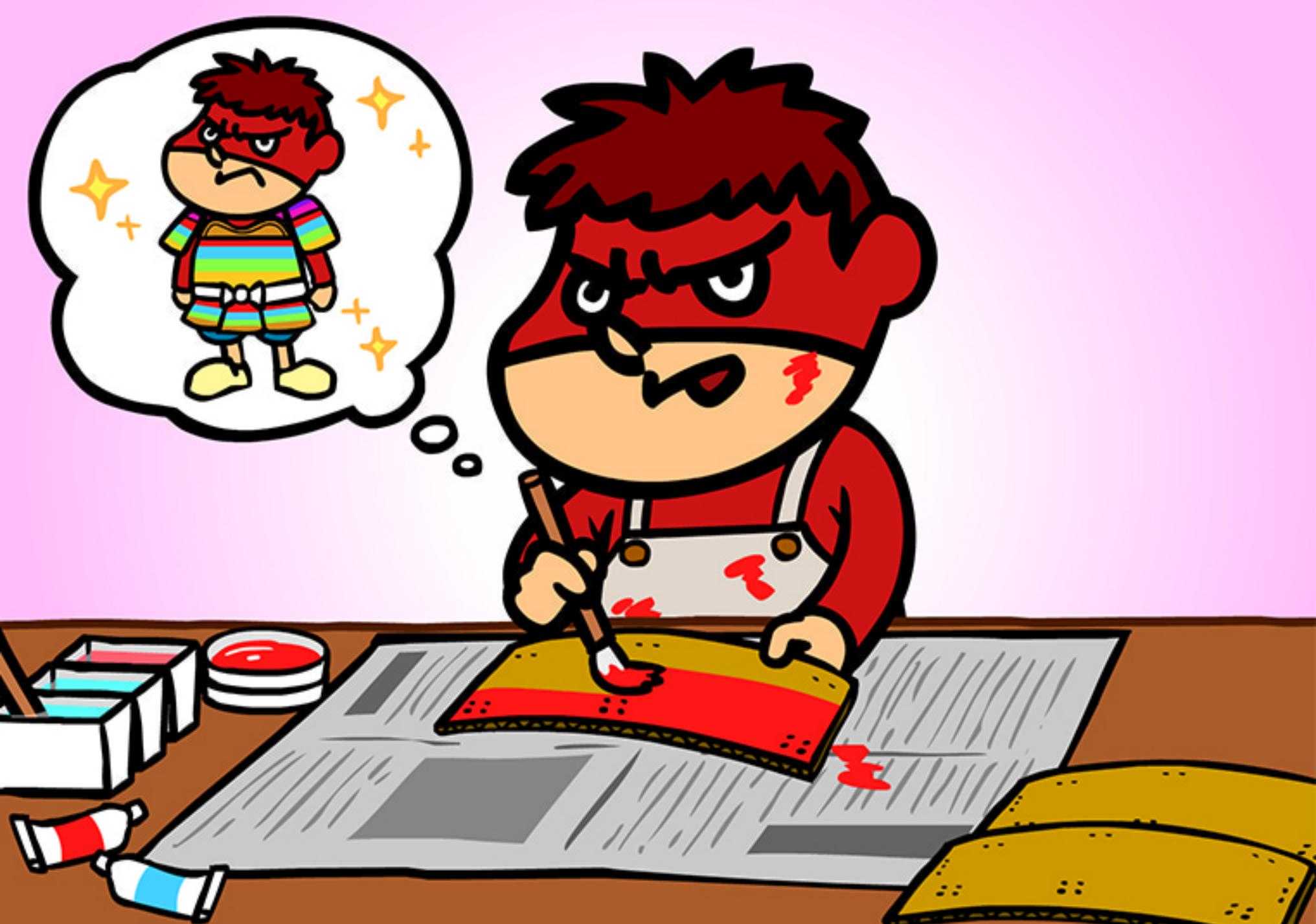
型紙をセロテープなどで素材に仮留めし、型紙の○部分に、パンチで穴をあけます。直接型紙を素材に重ね、型紙ごとパンチで穴をあけるのが一番正確です。紐やデザインによっては、穴の大きさを変えてもOK！前胴⑤、後胴⑤、草摺①に横長の穴は線に合わせてカッターで切り取ってください。



型紙では穴は少なめになっているようですね。

デザインによって穴を増やしたり
変えたりしてもらっても大丈夫じゃよ！





塗装

穴をすべてあけたら、自分の体に合わせ軽く曲げてから、塗装します。スプレーを使ってもよし、絵の具を使ってもよし、好きな色を使って、自分だけのオリジナル甲冑思い描き、色を塗りましょう！



継続！

やっぱり目立ったほうがいいですよ！
レインボーにしましょう、レインボー！

いや、レインボーの甲冑はちょっと
どうかと思うよ、吉田くん。





さらに丁寧に仕上げるために

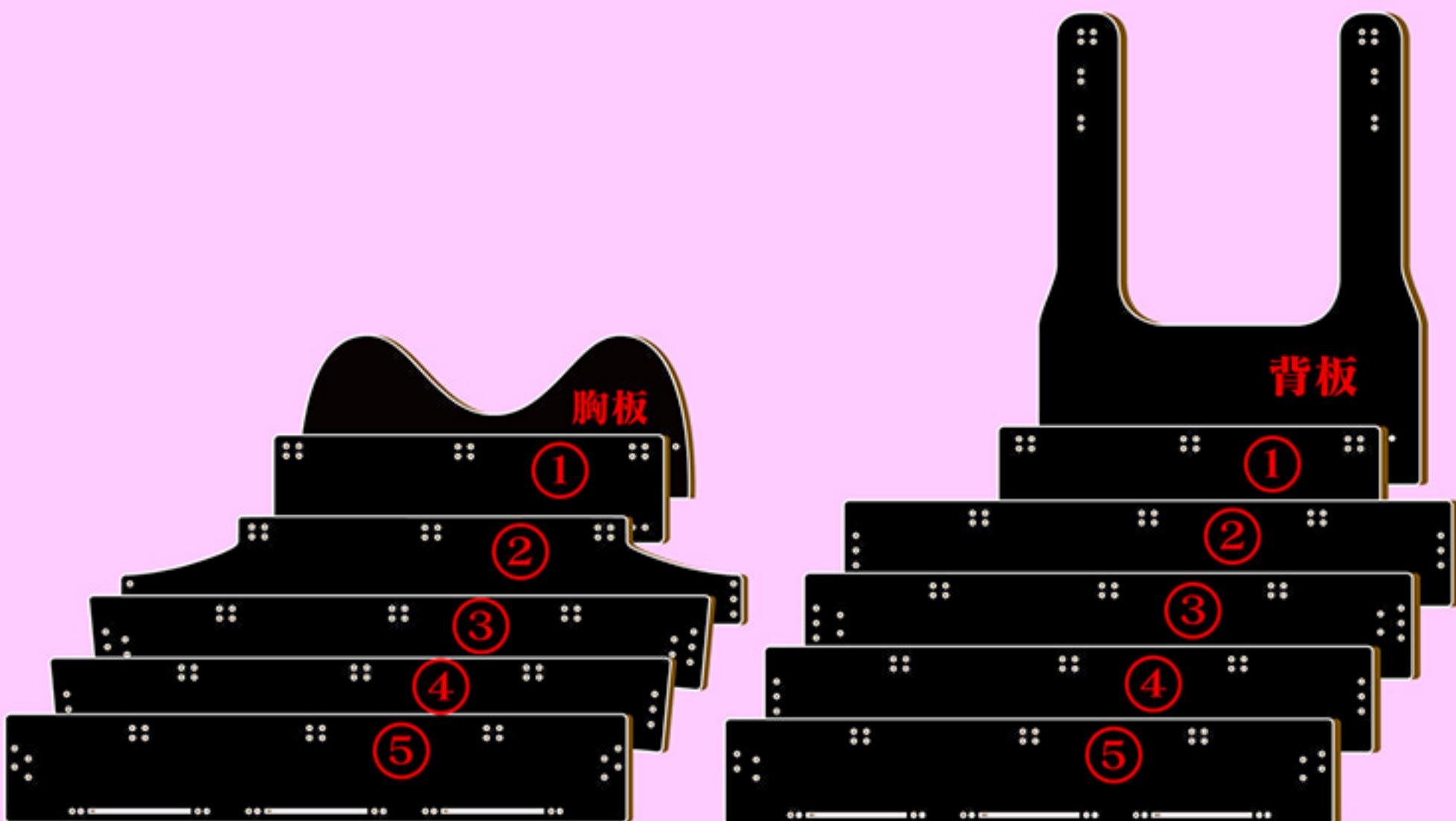
型のフチにテープを貼って補強したり、型に自分だけのデザインなどを描くと、オリジナル感がアップします！



カッコよくしたかったんで、
『ダメージ加工』を施してみました。
どうです、総統？

うわあああ！何してくれたんじゃ
吉田くん！作り直しじゃよ！





型の重ね順

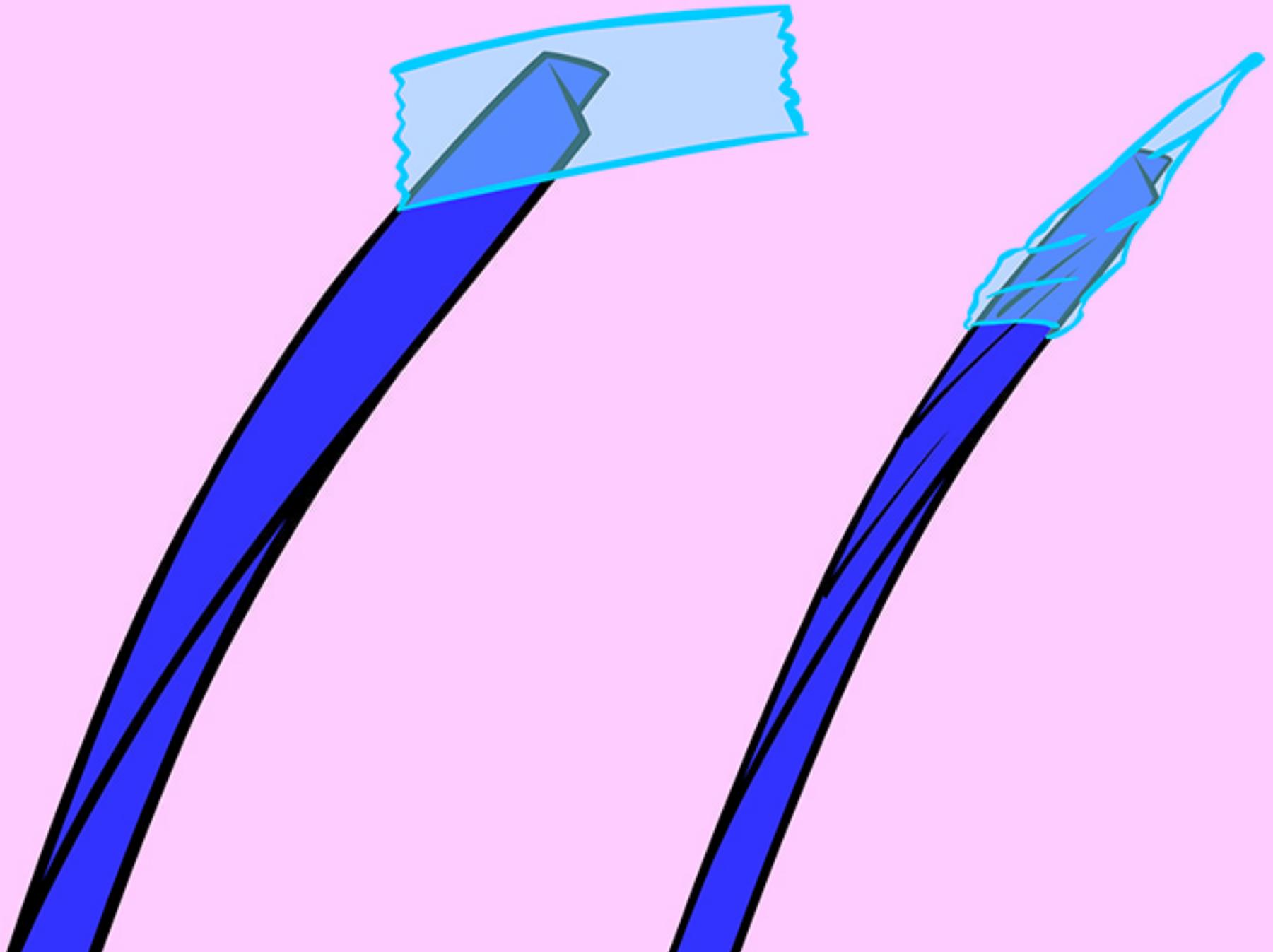
一度型を重ね、完成形をイメージしておきましょう。型の重ね順は、基本的に『下のパーツが上に重なる』ようにします。この自作甲冑型紙では、袖①のみ、袖②に対して上に重ねます。



甲冑の完成形が見えてきましたね、総統！

もうひと踏ん張りじゃ！





紐を通す①

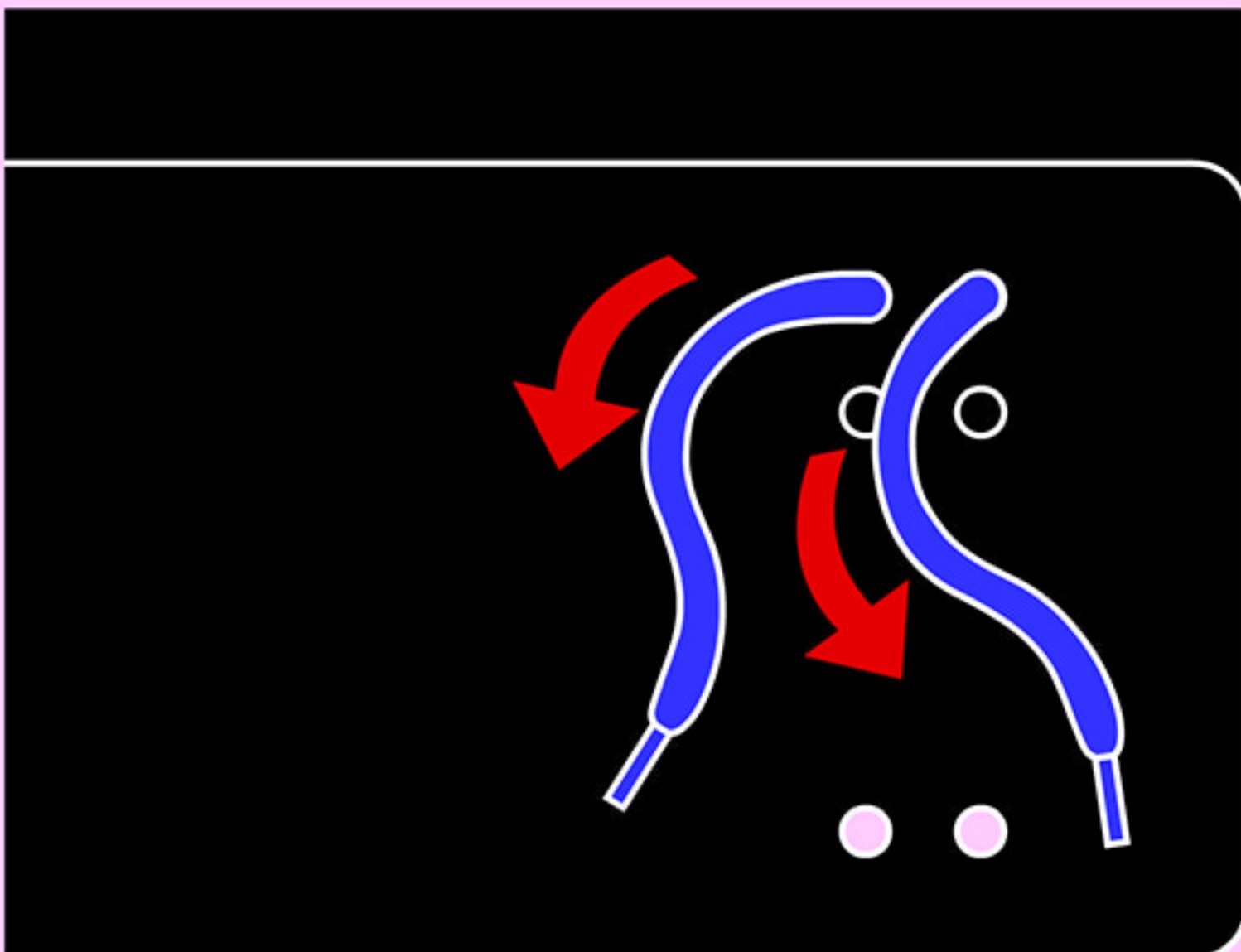
重ね順などを確認したら、紐を通していき作業です。穴に紐を通しやすくするために、先端にセロテープを貼り、こよりのようになじり、先をとがらせましょう。



まるでこよりみたいですね…。えいっ！

うわあああ吉田くん！
鼻に入れてこないで！！





つ

紐を通す②

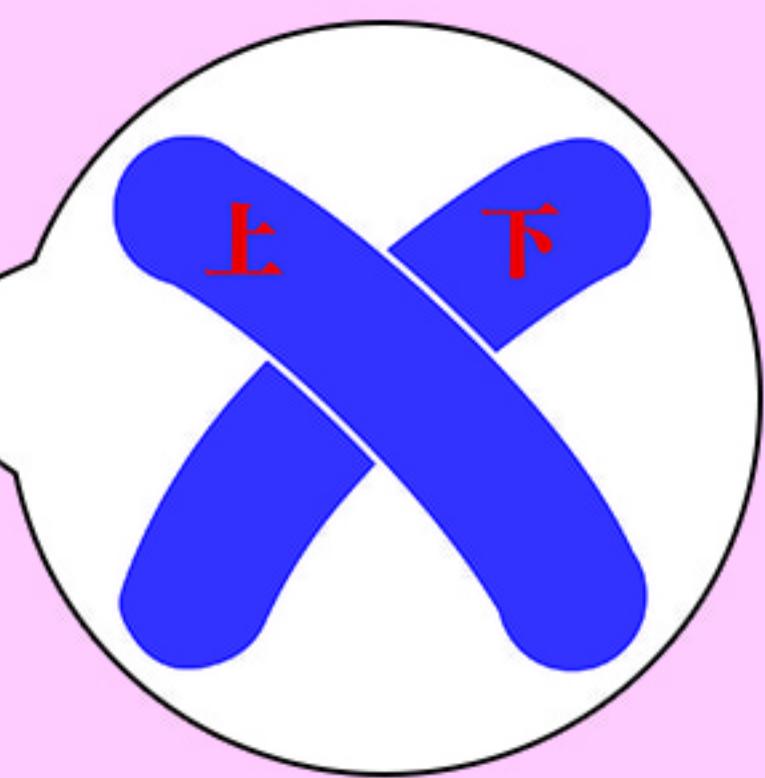
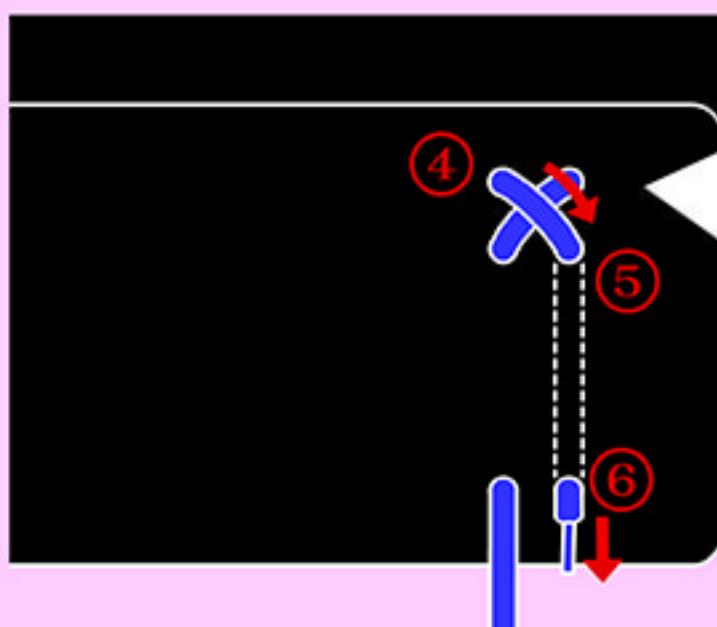
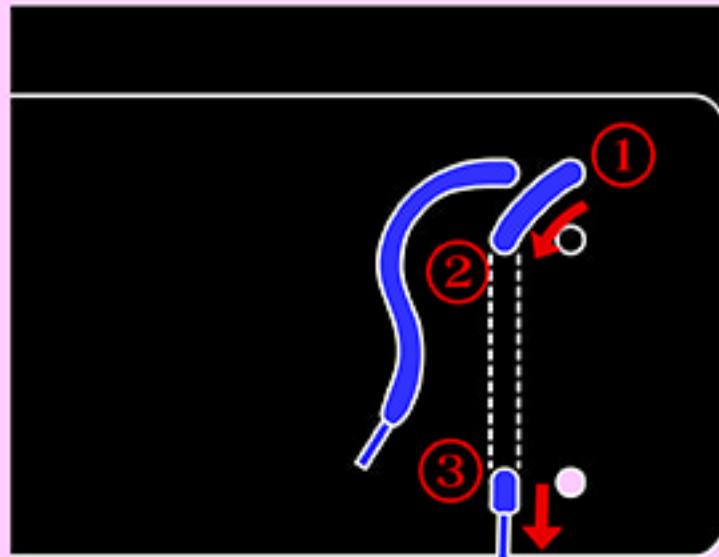
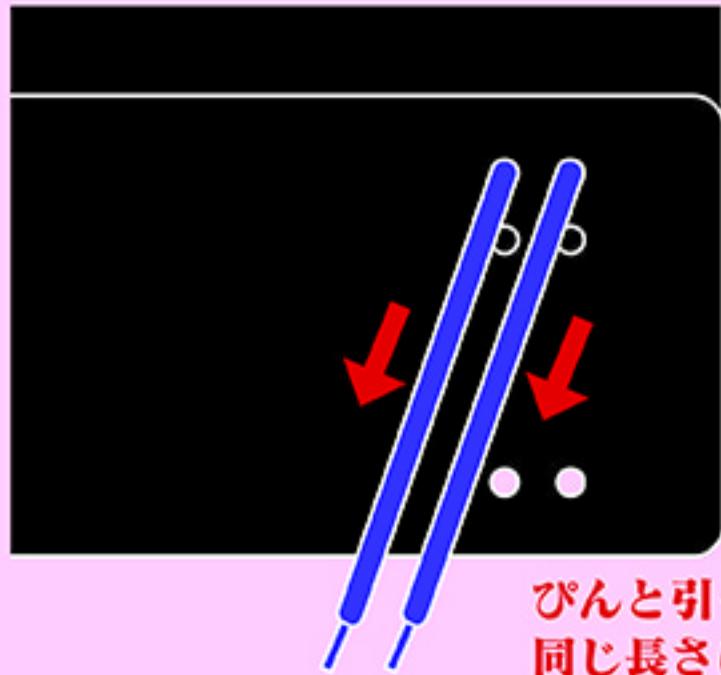
使用する紐の長さは、1か所ためしに通してから、無駄な長さがなくなるよう、他の箇所の紐の長さを決めます。胸板の裏から紐を通して、引っ張って同じ長さにしておきましょう。



同じ長さで、ピンと引っ張るのが
ポイントですね、總統！

丁寧にいきたいね、吉田くん。
次は縫い方じや！





紐を通す③

胸板から通した紐を、前胴①の上部の穴に後ろから通し、イラストのようにクロスさせて縫い、下の穴に後ろから通します。通した紐を前胴②の上部の穴に通し、ピンと引っ張り、前胴①の下部の穴、前胴②の上部の穴に重ねます。以上の工程を前胴⑤まで繰り返し、前胴⑤まで通し終えたら、後ろで結びます。後胴にも同様の作業を行います。

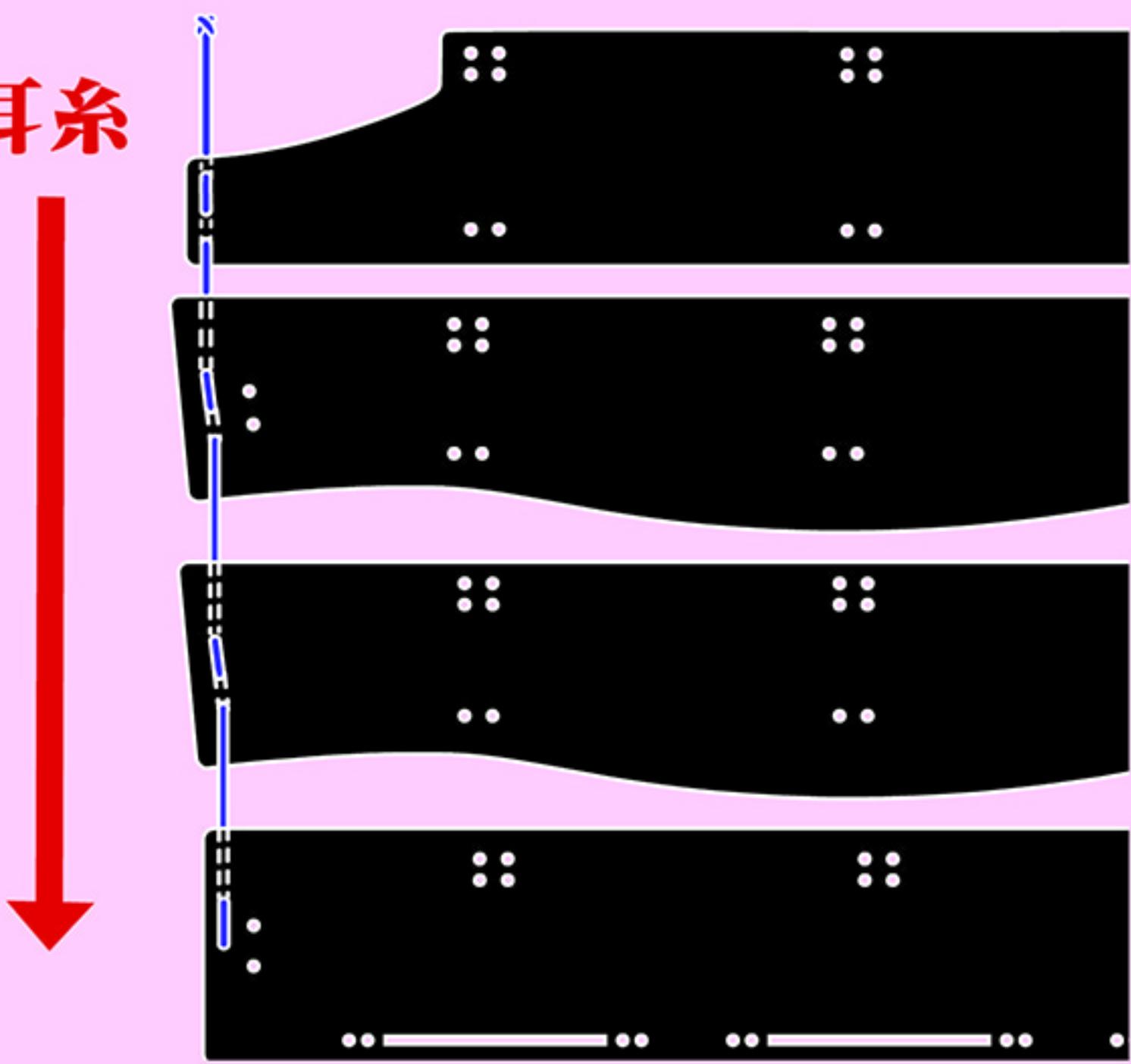


難しいですが、
ここが一番のポイントですね！

イラストをしっかり参考にして、
間違えないようにしたいね！



耳糸



胴の耳糸を通す

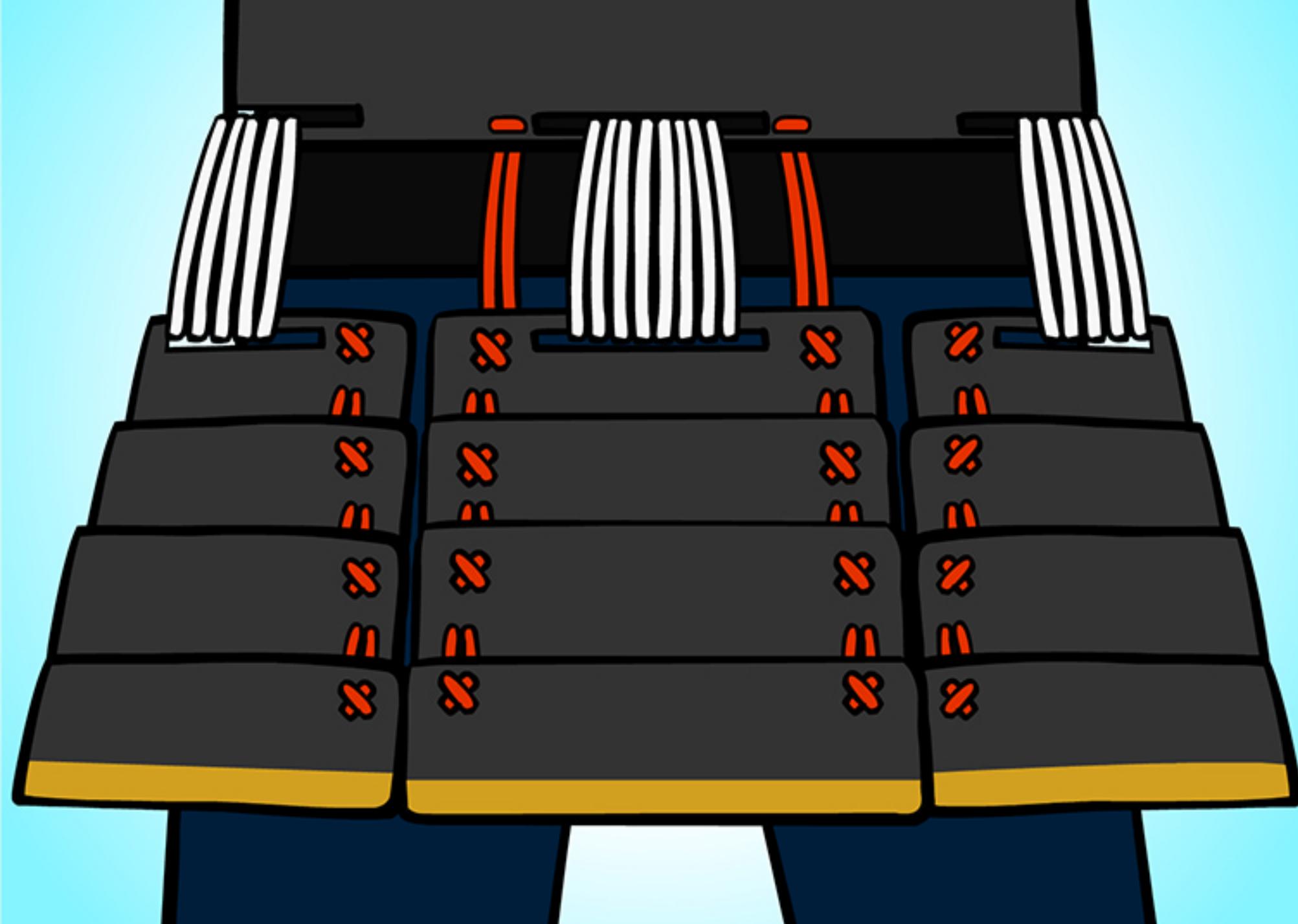
胴パーツの端の、縦に並んだ穴に耳糸を通します。胴の長さに合わせ紐を切り、おしりを結んで、前胴②からイラストのように通していきます。最後まで通したら、後ろで結びます。後ろどうに



おおおお！甲冑っぽくなってきました！

やっぱり形ができてくると、
作業もはかどるねえ！





草摺を作る

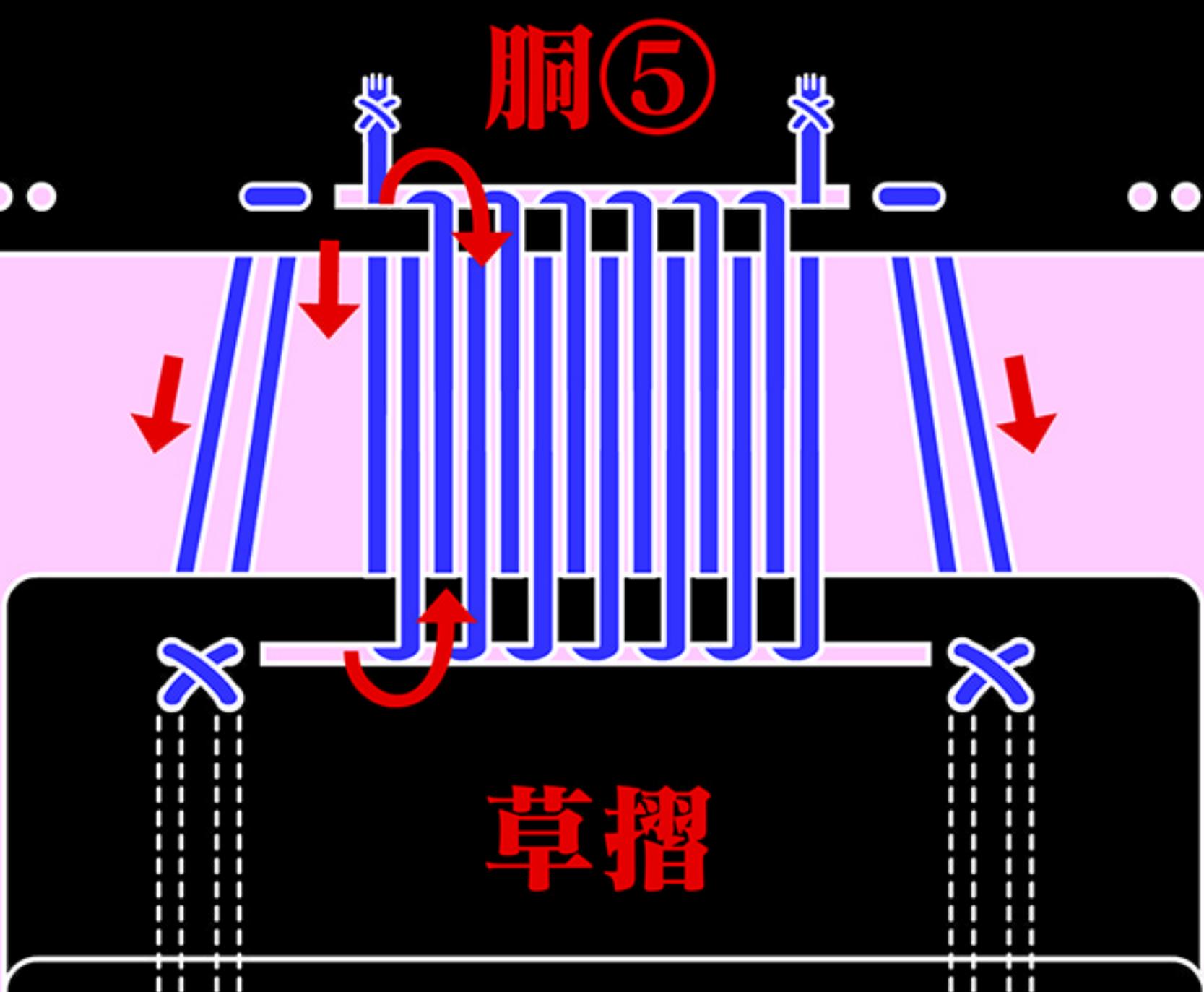
前胴⑤、後胴⑤に6つの草摺を付けます。前胴⑤の下部についていた2つの穴から紐を通し、草摺①につけます。胴制作時と同じ要領で、最後まで通し、後ろで結びます。



ちなみに草摺ってなんですか？総統。

胴部分だけでは守りきれない、
下半身を守るためのパートじゃ！





揺るぎ糸を通す

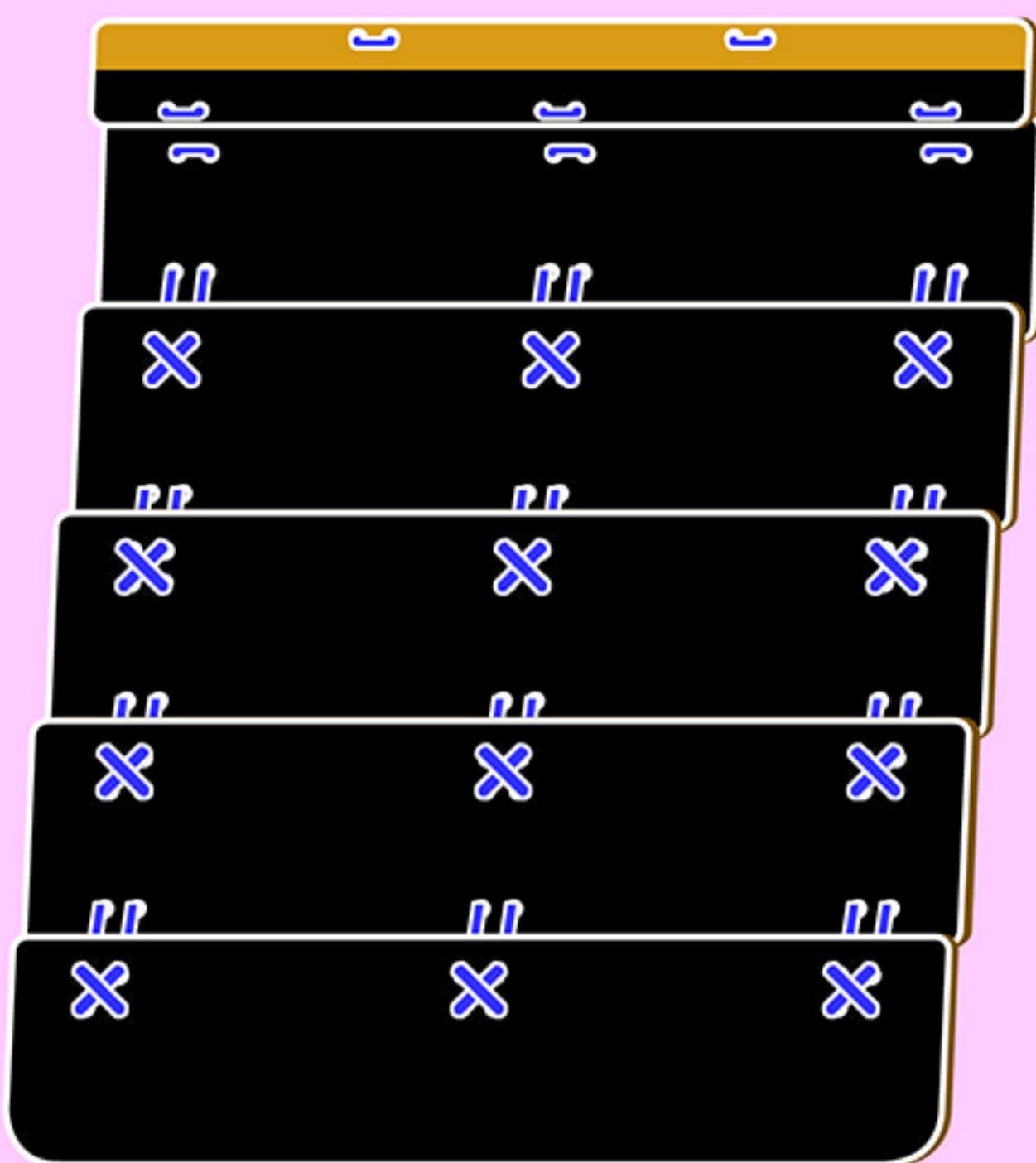
すべての草摺を付けたら、草摺①と前胴⑤、後胴⑤に空いた横穴に揺るぎの糸を通します。飾り部分なので、紐の長さや色は各自の調節でOK！



実際の甲冑にもこのように
揺るぎ糸用の横穴があるんですか？

いや、先ほども言ったようにこれはあくまでも
簡単に作ってあるんじや。もちろん一つ一つ穴を
空けて、一本ずつ紐を通して全然構わないよ！





袖を作る

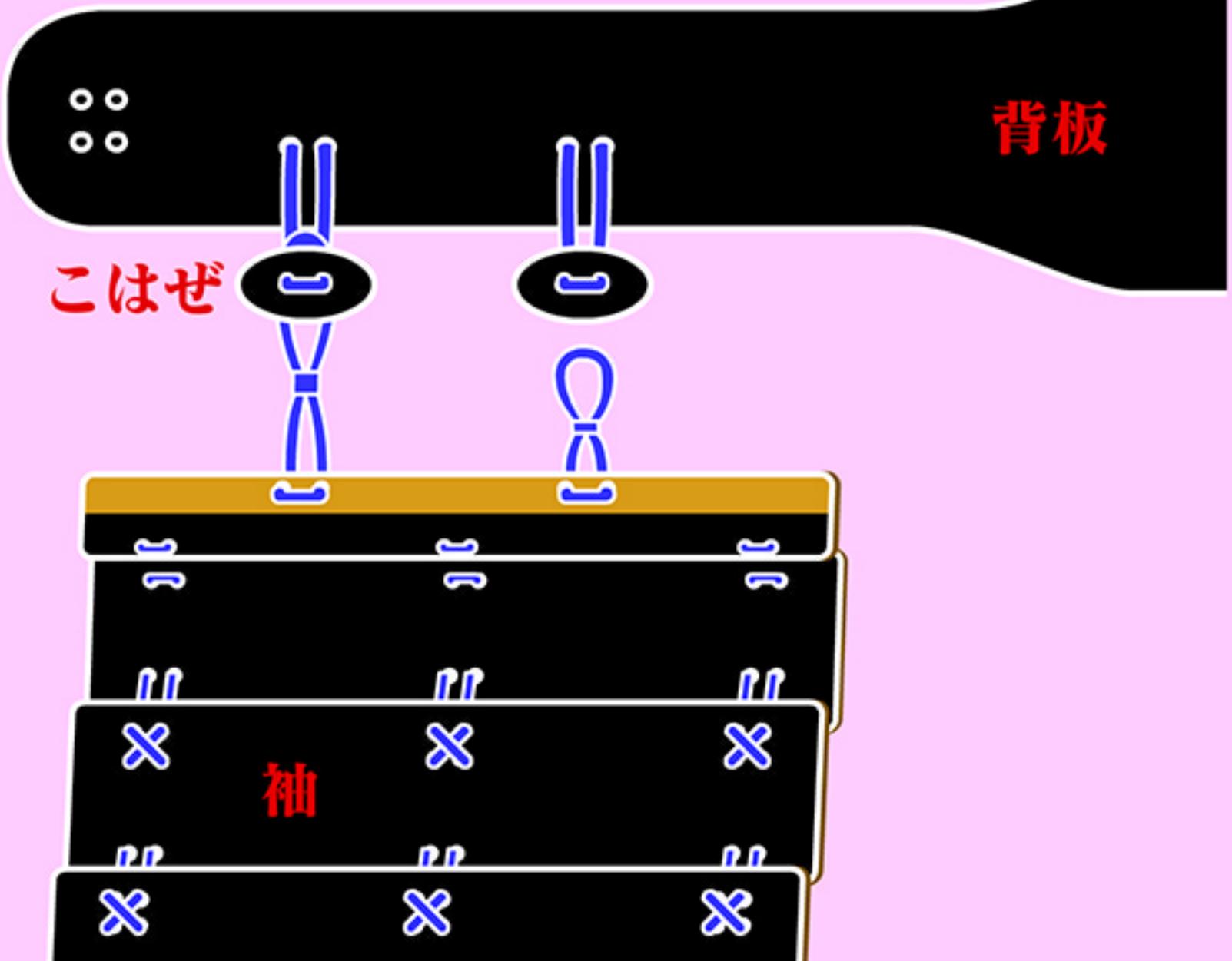
袖もこれまでの胴、草摺と同様に紐を通します。袖①、袖②のみこれまでとは逆に、**袖①の下部の穴を袖②の上に重ねてください**。袖②以降はこれまでと同様、下に来る素材を上に重ねてください。



なんで袖①だけ
重ね方が違うんですか？

冠板の返し部分を
意識しているみたいじゃね。





袖と背板をつける

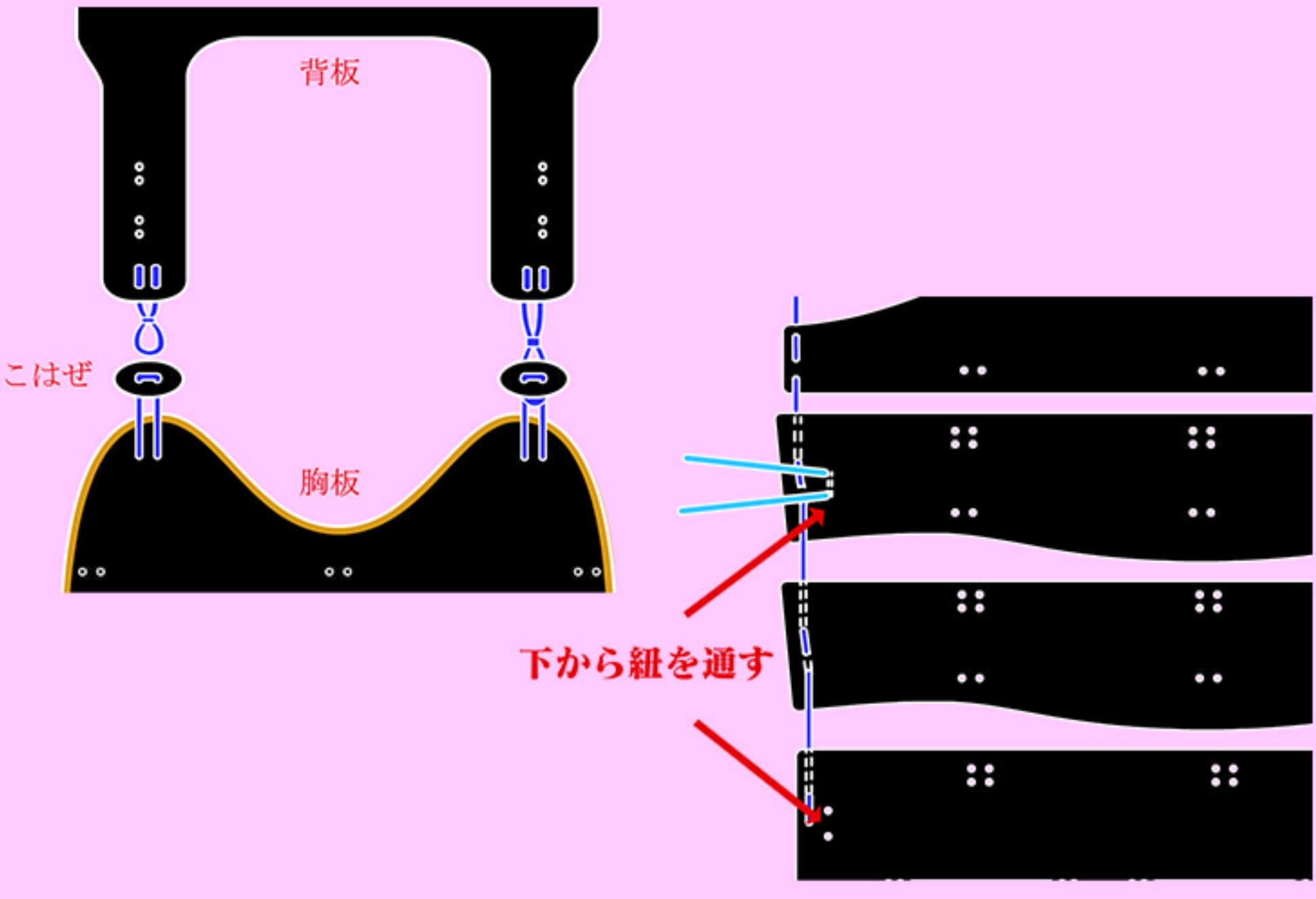
出来上がった袖と、後板の取り付けを行います。袖①の上部の穴に紐を通し、輪を作ります。(イラスト参照) 切り出しておいたこはぜに紐を通し、後板の型部分に2つ横に並んだ穴に通します。以上の作業をすべて行うと、肩部分に袖を取り付けることができます。(長さ等は、自分の体形に合わせ、調節してください)



わっかはこはぜがギリギリ通るくらいの大きさがちょうどいいみたいです。

わっかが大きすぎると、すぐに外れて大変みたいじやよ。





前胴と後ろ胴を付ける

後板の4つ並んだ穴に輪を結んだ紐を通します。胸板上部の穴にこはぜを付けた紐を通します。身長や体型に合うよう、紐の長さを調節してから、後ろでしっかりと結んでください。(イラスト参照)
その後、前胴、後胴を固定させるための紐として、前胴③、⑤に残った穴に紐を通します。後ろ胴③、⑤に同様に紐を通して、結びます。



いよいよ完成ですよ！

長かったのう…。





完成！…その前に。

完成！といいたいところですが、その前に一度つけてみて、丈の長さ、大きさ等を確認しましょう。紐はきちんと結べているかどうかが完成度につながるので気を付けて確認してください。腰部



帯を締めたら、
なんだか気分も引き締まりますね！

ハチマキもしてみたら
良いかもしないねえ！





完成！！

お疲れ様でした！完成です。自作甲冑を付けてぜひ、『鷹の爪団のSHIROZEME』へ参加してみてください！写真を撮って、SNSで拡散もしてね！



継続！やりました、
遂に甲冑が完成しました！

うむ。ではこれを着けて、
全国のお城を征服じやあー！

